

# 小・中一貫教育について

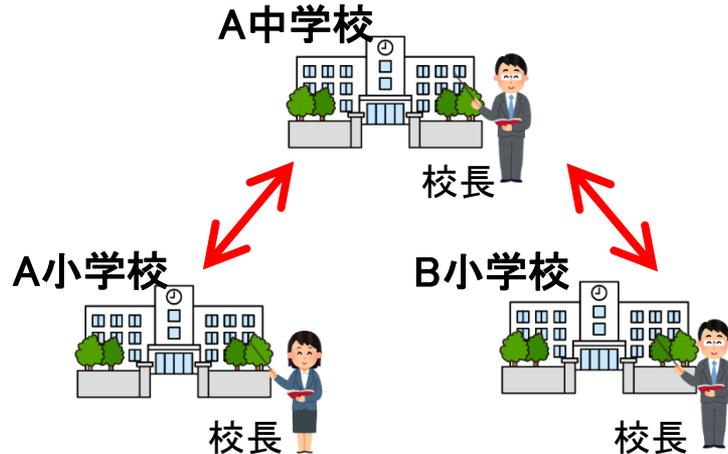
令和8年2月25日  
教育総務課

# 学校の形態

小中学校の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す学校

## (1) 小中一貫型小・中学校

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態 ⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

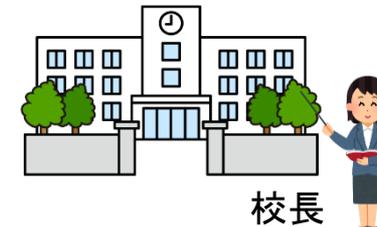


○小学校教員が中学校教員を、中学校教員が小学校教員を兼務することにより、柔軟な指導体制を組むことができる。

## (2) 義務教育学校

新たな学校種(一つの学校)  
⇒一人の校長、一つの教職員組織

修業年限:9年  
(前期課程6年+後期課程3年)



※ (1)(2)いずれも施設分離型、施設一体型での実施形態が可能。

○小中一貫校と同様に、柔軟な指導体制を組むことができる。  
○9年間を通して子どもを育てるという教員の意識を醸成しやすい。

# 市の教育目標・目指す子ども像

## 【教育目標】

夢をもって自ら行動し、たくましく生きる宇陀っ子の育成

## 【目指す子ども像】

- ・主体的に学び行動する子
- ・地域に愛着をもつ子
- ・自分も人も大切にする子

## 【指導の重点】

○UDAスタンダードの推進

（保育・授業のユニバーサルデザイン化を含む）

○アントレプレナーシップ教育の視点を取り入れた保育・学習

（年間計画をそろえる）

○系統化された人権教育の推進

# 中学校区ごとの推進内容

## 1 実態把握と課題設定

- ・ 一貫教育を手段・方法として有効に活用するための実態把握（学習面・体力面・生活面等）

## 2 目指す子ども像・教育目標の設定

- ・ 義務教育を終える段階で身に付けておくべき力
- ・ 具体的目標の設定

## 3 共通化一貫化の検討

- ・ 教科指導    ・ 生徒指導    ・ 特別支援教育    等

## 4 評価設定

- ・ 目標を可視化する評価項目・指標

# 中学校区ごとの内容（検討中）

## ○小中学校で「そろえて続ける」（一貫性）

例えば、

- (1) 「学習規律・生活規律」をそろえて続ける
  - ・ノートのとり方、発表の仕方、タブレットの活用
- (2) 「授業スタイル」をそろえて続ける
  - ・学習のめあて・目標の提示の仕方
- (3) 「家庭学習」をそろえて続ける
  - ・家庭学習時間の共通化、自主学習ノートや家庭学習ノートの活用

## ○小中学校を「つなぐ」（系統性）

- (1) 教科等をつなぐ
  - ・総合的な学習など、すべての教員で取り組む